

# 第 1 学 年 生 活 科 学 習 指 導 案

1 年 1 組 指 導 者 志 賀 直 美

## 単 元 すきをもっとすきへ

### 1 本単元で子供が働かせる各教科等の見方・考え方

自分との関わりで対象を捉える視点（自分の「すき」を自覚すること）

### 2 本単元について

本学級の子供たちは、休み時間に、虫取りや鬼ごっこ、読書やお絵描き等をしながら楽しく過ごしている。放課後、塾や習い事と忙しい子供たちにとって、ほっとする一時でもある。このような子供たちが、自分の楽しい時間の過ごし方を活かした店を開く学習に取り組む。このことは、自分の好きなことを見つけ、自らの生活を豊かにしていくとともに、予測困難な時代の中で、自らの心の支えにもなっていくであろう。

本単元は、自分の楽しい時間の過ごし方を活かした店を仲間と協力して開くことをとおして、自分の好きなことを追究していく学習である。子供たちは、自分の楽しい時間を紹介するために、楽しいと思うことを存分にやってみたり、紹介するための方法を試行錯誤したりしていくであろう。その際、自分の「すき」を自覚することを大切にしたい。そうすることで、自分の好きなことを意識して、自分の楽しい時間を過ごそうとしたり、より楽しく過ごせるように工夫したりすることができると思うからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子供の姿の実現を図る。

- ほっとする、すっきりする、わくわくするという3つの視点で、普段の自分の過ごし方を見つめ直す活動を設定する。そうすることで、自分の楽しい時間の過ごし方を見つけることができるようにする。
- 店の準備をしたり、店を開いたりした後、自分のお気に入り度とその理由を振り返るよう促す。そうすることで、自分の「すき」を自覚することができるようにする。
- 客になる対象を変えながら、繰り返し店を開く活動を設定する。そうすることで、自分の「すき」を自覚して、より楽しくなるように工夫することができるようにする。

### 3 本単元の目標（生活や出来事の伝え合い、自分の成長）

- 自分の楽しい時間の過ごし方を活かした店を仲間と協力して開くことをとおして、自分の「すき」を自覚し、より楽しくなるように工夫することができるようにする。
- 学習を通して得られた自信をもとに、自分の楽しい時間の過ごし方を活かしながら自分の好きなことを見つけ、自らの生活を豊かにしていくことができるようにする。

### 4 本単元における評価規準

| 知識・技能の基礎（知）                                   | 思考・判断・表現の基礎（思）                 | 主体的に学習に取り組む態度（態）             |
|---|--------------------------------|------------------------------|
| ○自分の楽しい時間の過ごし方に気付いている。<br>○自分や友達の「すき」に気付いている。 | ○自分の「すき」を自覚し、より楽しくなるように工夫している。 | ○自分の楽しいと思うことを存分にやってみようとしている。 |

### 5 指導計画（全14時間）

第1次 自分の楽しい時間の過ごし方を見つける（2時間）


第2次 自分の楽しい時間の過ごし方を活かした店を開く（11時間）【本時9／11】

第3次 自分に手紙を書き、単元全体の学習を振り返る（1時間）

6 本時案 【令和4年11月25日 11:10~11:55 1年1組教室】

(1) ねらい 自分の好きなことを伝え合う活動をとおして、自分の「すき」を自覚し、園児に向けて開く店がより楽しくなるように工夫することができる。

(2) 学習過程 ※下線は支援に対応する子供の意識

| 学習活動・学習内容  | 子供の意識   | ○教師の支援   |
|--|---|--|
| <p>1 前回の様子を振り返り、よいお店になった理由を話し合う。(10分)</p> <p>・前回のお気に入り度</p>  | <p>・2組さんが、お客さんになって来てくれた時の写真だね。</p> <p>B あっ。A君が、2組さんを新幹線に乗せてお店に運んでいる写真だ。</p> <p>A 喜んでくれたし、すごく楽しかったな。だからお気に入り度も5にしたよ。</p>   | <p>○どうして素敵なお店になったかを問う。そうすることで、自分の「すき」を自覚して、楽しくなるように工夫したことが捉えられるようにする。</p>  |
| <p>どうして素敵なお店(お気に入り度が5)になったのかな。</p>  |   |  |
| <p>2 好きなことを伝え合う。(10分)</p> <p>・好きなことの追究</p>   | <p>A <u>好きな新幹線を運転して楽しかったからだよ。なぜ運転することを思いついたのかわくわくすることを考えたからだよ。</u></p> <p>B そうか。自分の好きなことをしているときのわくわくしている気持ちを思い出したら、もっとお気に入り度が上がるかな。</p> <p>B 僕は、鳥の鳴き声を聞くのが好きだな。何という鳥か考えるとわくわくするのだよ。</p> <p>A 僕は、新幹線のアナウンスも好きだけれど、発車するときの音も好きだな。</p> <p>・いろいろな形の貝殻を、砂の中から見つけるのが好きな友達もいるのだね。</p> <p>・<u>自分の「すき」がもっとよくわかったね。</u></p>                     | <p>○自分の好きなことを伝え合う場を設定する。そうすることで、自分の「すき」をより具体的に自覚できるようにする。</p>              |
| <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">星組さんに、自分の好きなことをもっと紹介しよう。</p>   |   |  |
| <p>3 紹介の方法についてグループで話し合い、準備をする。(25分)</p> <p>・紹介の方法</p> <p>・好きなことの追究</p> <p>・今日のお気に入り度</p>   | <p>A B君の鳥の鳴き声が好きって、僕の新幹線のアナウンスが好きなことと似ているね。</p> <p>B <u>鳴き声を紹介したらどうかとA君が言ってくれたよ。好きな鳴き声を使ったクイズを作って紹介しよう。</u></p> <p>A 僕は新幹線が発車する時の本物の音を使いたくなったよ。</p> <p>B タブレットを使って一緒に探そうよ。</p> <p>A 音が見つかったよ。本物の音を聞くともっとわくわくするね。やっぱり新幹線が好きだなあ。</p> <p>B 今日のお気に入り度は5だよ。だってわくわくする気持ちを考えて、鳥の鳴き声のクイズを思いついたからだよ。</p> <p>・「すき」がもっと伝わると、星組さんもきっと楽しいと思うな。</p> | <p>○幼稚園の星組にお店を開く場を設定する。そうすることで、自分の「すき」を自覚して、より楽しくなるように工夫することができるようにする。</p> |

